

2013年 2月 4日

愛知製鋼株式会社

愛知製鋼とロームがセンサ事業で業務提携

愛知製鋼株式会社（本社：愛知県東海市、社長：藤岡高広）とローム株式会社（本社：京都市、社長：澤村 諭）は、センサ事業分野において業務提携を行い、両社の強み技術を融合し、開発・生産での協力関係を構築することで、今後成長が見込まれるセンサ市場の開拓を推進することに基本合意した。

愛知製鋼は、高性能の磁気センサである MI センサを活用して、携帯電話やスマートフォン用の電子コンパスを 2002 年に市場投入し事業拡大をはかってきた。昨今、センシング機能の高度化に伴い、MI センサのコア素材である MI 素子の質的・量的な対応力が望まれていた。

一方、ロームは、センシングデバイス事業を成長戦略のひとつとして掲げており、実績の高い近接センサ、照度センサのほか、2009 年にグループ会社化した米国カイオニクス社の加速度センサ、ジャイロセンサなど幅広いセンサラインナップにより、スマートフォンやタブレット、パソコン等への販売強化を進めてきた。近年は、市場の小型化要求に応えるため、各種センサの複合化にも取り組んでおり、次世代の複合センサ（9 軸、10 軸等）の開発推進のため、高性能の磁気センサである MI センサに注目していた。

アンドロイドや Windows では仕様として規格化され、また様々なロケーションサービスなどの急速な普及が見込まれていることから、MI センサへの市場要求の高まりが期待されている。

今回の業務提携により、両社のシナジーを活かして、今後も成長が見込まれるセンサ市場への販路拡大を目指す。具体的提携内容は以下の通り。

記

1. 業務提携の概要

◆MI 素子の製造委託

ロームは、8 インチシリコンウェハによる MI 素子の高能率量産ラインを敷設し、愛知製鋼から MI 素子の製造委託を受ける。製造ライン構築に必要な MI 素子製造設備・技術は、愛知製鋼からノウハウを供与、あるいは、ロームとの共同開発で対応する。

なお、愛知製鋼の MI 素子製造工場（岐阜工場）は、今後も内製工場として、MI 素子をつくるためのコア素材供給と、自社製センサ用の MI 素子製造、および試作等に活用する。

◆次世代センサの開発

愛知製鋼の MI 素子および磁気センシング技術と、ロームが保有する半導体加工技術の融合により、他社より高性能のセンシングデバイスを開発、製造するとともに、ロームの強みである豊富なセンサラインナップと組み合わせることにより、多様化するユーザアプリケーションのニーズに対応する。

◆技術サポート

愛知製鋼は、ロームに対し、磁気センシング技術全般に関するハード・ソフトのサポートを行う。

◆磁気センサの販売

ロームは、完成した MI 素子を組み込んだ磁気センサの販売を実施する。

2. 提携時期 : 2013 年 2 月 4 日

以上

【本件に関するお問い合わせ先】

愛知製鋼株式会社 総務部 総務・広報室 TEL 052-603-9216

ローム株式会社 メディア企画部 広報課 TEL 075-311-2121